

豊島区セーフコミュニティ取組宣言

豊島区は「セーフコミュニティ」の認証取得に取り組めます

豊島区では、町会やボランティア団体等による地域の見守り、繁華街の治安対策、学校の安全対策、交通安全、さらには介護予防や生活習慣病予防など、住民による活発な地域活動が展開され、暮らしの安全と健康を守ってきました。

「セーフコミュニティ」は、「けがや事故等は偶然の結果ではなく、予防できる」との理念のもと、科学的な原因究明に基づき、部門横断的な連携・協働を広げながら地域社会の安全の質を向上させる世界基準のまちづくりであり、まさに豊島区が目指す姿であります。

急速に高齢化が進むなか、けがや事故、犯罪や暴力、自殺、虐待など、乳幼児から高齢者に至るまで、安全と健康をコミュニティの力で守る仕組みを根付かせ、次の世代に引き継いでいくことは、区民共通の願いです。

豊島区は、2012年に区制施行80周年を迎えます。

これまで10年間のまちづくりの集大成として、その節目の年に向けて、日本一の高密都市ならではの“安全文化”の姿をつくりあげるため、WHO（世界保健機関）セーフコミュニティ協働センターが提唱する「セーフコミュニティ」の認証取得に取り組むことを、ここに宣言します。

平成22年2月22日 豊島区